

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

②施設・事業所情報

名称：グローバルキッズ十日市場園	種別：認可保育所
代表者氏名：酒井智明	定員（利用人数）：58名 （利用者 58名）
所在地：〒226-0025 神奈川県横浜市緑区十日市場町871-5	
TEL：045-986-0803	ホームページ： <a href="https://www.gkids.co.jp/facilities/nursery_007.html">https://www.gkids.co.jp/facilities/nursery_007.html</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2009年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 グローバルキッズ	
職員数	常勤職員：17名 非常勤職員：6名
専門職員	保育士 17名 看護師 1名
	栄養士 3名 調理師 1名
施設・設備の概要	保育室 6 トイレ 2
	調理室 1 事務室 1
	園庭 あり

③理念・基本方針

企業理念：子ども達の未来のために  
保育理念：豊かに生きる力を育てる

保育目標（目指す子どもの姿）

1. 自己肯定感を高く持ち、自信を持って生活できる子ども
2. 自分の気持ちを伝え、思いやりや感謝の気持ちを表現できる子ども
3. 失敗を恐れずに、いろいろな事に挑戦できる子ども
4. 自分で楽しいことを見つけ、遊びを作り広げていく子ども

保育方針（目指す子どもの姿を達成するために、どうするか。）

1. 家庭と連携した子育てをし、肯定的な関りをすることで、子どもの生活の安定を図る
2. 子どもの意欲や気持ちを生かした保育（受け止める、受け入れる、尊重する、応える）
3. 子どもの長所を伸ばす丁寧な関りを心掛ける
4. 発達や興味に合わせた環境づくり

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

- 学びを生み出す保育を行う
- 子どもたち一人ひとりの発達にあった、『ちょうどよい』環境を作る
- 乳児クラス（0，1，2歳児）は育児担当制保育を行う
- 流れる日課（一日の流れ）で過ごす（無用な待ち時間をなくす
- 異年齢保育を行います。（3・4歳児）

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年5月23日（契約日） ～ 令和5年3月3日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	4回（2019年度）

#### ⑥総評

##### ◇特長や今後期待される点

1) 子ども一人ひとりの発達段階をとらえて、丁寧な保育を実践しています  
0～2歳児クラスでは担当制保育を導入し、個別の記録ノートに個々の成長の様子を詳細に記録しています。3、4歳児クラスでは異年齢保育を行って年上と年下の子が互いに育ち合う環境づくりを行っています。5歳児クラスでは子どもが自分で考えて行動したり、友だち同士で協力し合って活動できるよう活動内容を立案しています。園全体では、子ども一人ひとりの生活リズムを大切に「流れる日課」で一日を過ごす保育を行うなど、子ども一人ひとりの発達段階とらえて丁寧な保育を実践しています。

2) 子どもが安全に安心して園生活を送れるよう、保育環境を整えています  
園では子どもの命を守ることを第一に考えてリスクマネジメントを行っており、事故を未然に防ぐために園全体で取り組んでいます。夏場は暑さ指数の計測により屋外活動を制限するなどの対策を講じて、子どもたちが安全に活動できる保育内容を立案しています。子どもたちは広い園庭で思い切り身体を動かして遊び、水を使ってままごとをしたり、色水で遊んだり、安全な保育環境の中で伸び伸びと園生活を送っています。

3) 園と保護者が協働して子どもの育ちを見守る体制づくりを行っています  
園長は保護者と協働して子育てを行っていく関係性を大切にしており、誠実に対応することを職員に伝えています。職員は、日々の会話や連絡帳でのやり取りを通して保護者との信頼関係を深めていくよう心がけています。園の保育の方向性や保育をするうえで大切にしていることなどをわかりやすく資料にまとめ、保護者に配付するとともに説明しています。また、連絡用アプリを用いて日々のドキュメンテーションを配信するなど、保護者とともに子どもの育ちを見守る体制づくりに取り組んでいます。

4) 人員体制と人材育成の充実を目指した取組が期待されます  
園では業務の実効性を上げて、働きやすい職場づくりに取り組んでいますが、さらに高い保育目標の実現に必要な人員の補充が望まれます。離職者もあるため、法人を通じて望ましい人材を増員することが望まれます。また、職員の面談等の機会を

通じて、職員一人ひとりが保育の意義を深く捉えて質の高い保育に取り組めるよう人材育成に努めていくことが期待されます。

5) 子どもと地域の交流を広げるための取組が期待されます

緑区の子育てイベント「みどりっこまつり」には、5歳児の子どもたちが参加するなどしていますが、これまで実施していた交流活動や地域の小中学生の職場体験の受け入れなどは、コロナ禍のため関係機関から中止を申し渡されるなど、実施が難しい状況となっています。今後に向けて、子どもと地域の交流をさらに広めていくために、コロナ禍における交流方法などについて工夫検討するなど、さらなる取組が期待されます。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

○前回（2019年）からの取り組みとして、

- ・正しい理論に基づいて保育を行う
- ・保育所の本来の役割と、それに伴う業務にあらためて着目し、業務の量と質の改善を進める

といったことを進めてきました。

結果、保育の質については向上したと考えています。また、当園職員のワークライフバランスについてもやや改善したように思われますが、継続して取り組みます。

○「子どもにとってどうか」

保育園が「子どもの最善の利益を追求する施設」であると改めて確認しあい、保護者の皆さんと一緒に考えて進んでくることができた3年間であったと振り返ります。

保育所として課題は山積していますが、職員、保護者、地域と力を合わせて、子どもたちの未来のための施設であるように進んでいこうと思います。

#### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり